

## 県士会活動に参加してみませんか？

一般社団法人群馬県言語聴覚士会会長の木村です。

会員の皆様におかれましては、各地域・領域において言語聴覚療法を必要とする方々への支援にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

昨年度も皆様のご協力により、「失語症者向け意思疎通支援者養成事業」（群馬県・前橋市・高崎市）と「失語症サロンくるる」の運営、「特別支援学校機能強化事業」（群馬県）、「いきいきサロン」（高崎市）などで、群馬県のST団体として地域貢献を続けてきました。

そして今年度は、「失語症者向け意思疎通支援者派遣事業」を実現すべく活動してまいります。研修で養成された意思疎通支援者の方々が、支援を必要としている失語症者のもとに派遣されることで、失語症者の社会参加が促進されるよう、当会として力を尽くしてまいります。こちらにも皆様のご協力をお願い致します。

さて、直近のニュースレターやメーリングリストでもお知らせしているように、3年後（2029年度）の日本言語聴覚学会を群馬県で開催することが決定しました（『第30回日本言語聴覚学会in群馬』 会期：2029年6月22日（金）～23日（土） 開場：Gメッセ群馬）。

これから、全国学会WGを中心に準備活動を進めていきますが、これを機に、今まで以上に会員の皆様と一体となり、群馬県らしい、素晴らしい学会を作り上げていきたいと思っています。自分の地元で全国学会を開催できるのは、おそらくST人生の中で一度きりのことです。皆様の積極的な参加をお待ちしております。

加えて、今年度の総会の議案である事務局移転や役員改選は、全国学会の開催という大きな目標に向けた新たな体制づくりの一環として位置づけられます。その点も踏まえ、皆様にご審議いただければと思います。

一方、学会開催と並行して、日本言語聴覚士協会と当会の連携体制構築について話し合いが進んでいます。連携体制を構築し、ST職能団体の大きなまとまりとして活動することによって、STの処遇改善やSTが関わる当事者の方への支援をより進めていくことができます。直近の診療報酬のプラス改定や、失語症者向け意思疎通支援事業への予算拡充などがその成果といえます。我々ST自身の地位向上や地域の当事者支援のために必要なことと考えますので、皆様のご理解を頂ければ幸いです。

最後に、県士会には様々な部局と活動があり、それぞれに皆様の力を必要としています。県士会活動は大変なのではないかと思われるかもしれませんが、自身のスキルアップや職場以外のSTとの交流など、得るものもとても多いです。県士会では皆様に参加できる研修会を多数開催し、上述した各種事業でも参加者を募っています。まずは少し顔を出してみる、というところから結構です。県士会活動の様々な場所で、皆様と会えることを楽しみにしております。

一般社団法人群馬県言語聴覚士会

会長 木村 大輔